

札幌市立光陽小学校

改築等基本計画

令和2年4月
札幌市

1 はじめに

光陽小学校は、新琴似小学校からの分離新設により、昭和43年12月に開校し、52年の歴史を積み重ねている。その後、昭和46年に新琴似北小学校、昭和48年に新琴似西小学校、昭和51年に新光小学校、昭和55年に新琴似緑小学校が、光陽小学校から分離新設した。

校舎棟は、昭和43年に鉄筋コンクリート造地上3階建てで建設し、それ以降、2回にわたり増築している。また、屋内運動場棟は昭和43年に建設し、平成13年に改築を行っている。

校舎棟は、築40年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいることから、教育環境の改善を図り、今般の教育・学習に対応した施設を整備するため、令和4年度の工事着手に向け、今年度、改築基本設計を行うものである。

また、学校改築に合わせて、児童会館と多目的ホールを併設する。

2 沿革

昭和43年12月	開校
昭和43年12月	屋内運動場新築
昭和45年・60年	校舎棟増築（計2回）
昭和62年7月	プール棟建設
平成13年2月	屋内運動場棟改築

3 計画地の概要

光陽小学校は、札幌市中心部から北北西に直線で約7.0kmに位置している。校区内は戸建て住宅と比較的低層の集合住宅が建ち並ぶ住宅街である。

(1) 所在地 札幌市北区新琴似5条11丁目4-1

(2) 敷地面積 16,779 m²

(3) 地域地区等

ア 南西側（現校舎棟）

用途地域	第1種低層住居専用地域（建ぺい率50%、容積率80%）
防火地域	指定なし
日影規制	2時間・3時間
高度地区	北側斜線高度地区
その他	札幌市景観計画区域、埋蔵文化財の包蔵地外

ア 北東側（現校舎棟の一部、屋内運動場及び地域・学校連携施設棟）

用途地域	第2種中高層専用住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）
防火地域	指定なし
日影規制	2時間・3時間
高度地区	18m高度地区
その他	札幌市景観計画区域、埋蔵文化財の包蔵地外

(4) 都市設備 上水道、公共下水道、都市ガス

4 計画規模の概要

校舎棟：延べ面積 7,375 m²

(うち給食室 350 m²、児童会館 300 m²、※多目的ホール 150 m²)

※軽運動可能な7m程度の天井高とする。

- 既存施設規模及び解体が必須となる建物は、別添配置図のとおり。
- 校舎棟は延べ面積で 700 m²程度の増築スペースを確保した計画とする。
- 昭和 62 年建設のプール棟は、既存施設の利用を基本とするが、配置上支障になる場合は建替えを行う。
- 平成 13 年建設の屋内運動場棟は、既存の施設を利用する。
- 仮設校舎は使用しない計画とする。

5 通学区域

北区

新琴似 4 条 7 丁目～16 丁目、新琴似 5 条 7 丁目～16 丁目

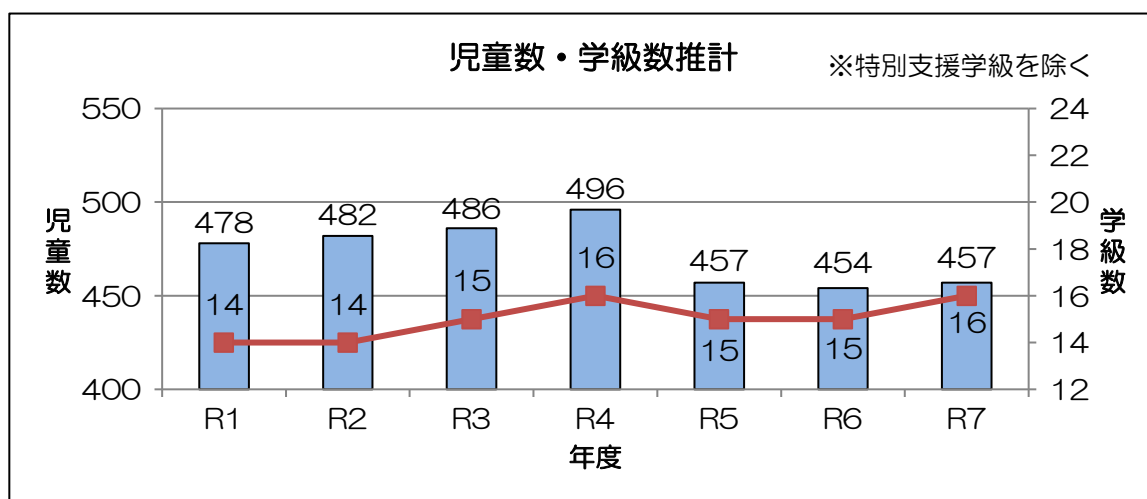
新琴似 6 条 7 丁目～13 丁目、新琴似 7 条 7 丁目～13 丁目

6 児童数の推計

通学区域の児童数については、概ね横ばいからやや減少傾向で推移するが、学級数はやや増加すると見込んでいる。

令和元年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	69	69	105	72	79	84	20	498
学級数	2	2	3	2	2	3	4	18



※ 参考：関係児童会館の利用者数（平成 30 年度）

会館名	開館日数	利用者数		1日当たり	
		うち小学生		うち小学生	
光陽児童会館	291	27,662	19,733	96	68

7 施設計画

施設整備の目標を基本とし、学校教育目標、事業などの特色を踏まえた施設を計画する。

(1) 施設整備の目標

ア 教育・学習方法の多様化の視点から

- (ア) 多様な学習形態、高度な教育機器の導入などに対応可能な施設を計画する。
- (イ) 児童生徒の自発的な学習活動を促し、新たな興味を引き出すことが出来る多様な空間の連続性がある施設を計画する。
- (ウ) 機能性、耐久性及び安全性を高めた施設にするとともに、潤いのある施設を計画する。

イ 豊かな生活環境の視点から

- (ア) 児童生徒が生き生きと学習に臨めるように、学校生活にリズムを与え、気持ちの切り替えが図れるゆとりと変化のある空間構成を計画する。
- (イ) 学年・学級の枠を越えた児童生徒間の日常的なコミュニケーションを活発にし、先生と身近で気軽な活動を生む開放的な雰囲気施設の施設を計画する。
- (ウ) 学校に誇りと愛着を持ち、思い出に繋がる文化性、芸術性及び記念性を備えた個性的な施設を計画する。
- (エ) 児童生徒や教職員だけでなく、誰もが親しみをもち安全に利用できるようバリアフリーに配慮した施設を計画する。

ウ 地域連携の視点から

- (ア) 四季の変化に富んだ札幌の気候、風土または自然環境を楽しみ、愛着を持てる豊かな感性と人間性を育てる施設を計画する。
- (イ) その地区、地域に対応した機能性と、特性、歴史及び敷地の特徴を反映することにより個性的で特色ある施設のデザインを計画する。
- (ウ) 児童生徒の教育の場であると同時に、より多くの諸室が学校開放に利用できる構成とし、地域のコミュニティ施設、または生涯学習拠点のために機能する施設など、PTA活動やボランティア活動等が円滑にできる施設を計画する。

エ 環境配慮の視点から

- (ア) 自然エネルギーを活用するとともに、資源の有効活用を図り、環境と調和のとれた学校施設を計画し、環境教育にも活用できるような施設を計画する。
- (イ) 環境への負荷の低減を図るなど、環境対策を講じるとともに、環境を考慮した学校施設『エコスクール』を取り込んだ施設を計画する。

(2) 学校教育目標など

ア 学校教育目標

よく考え 進んでする子
やさしく 心の豊かな子
元気に がんばりぬく子

イ 重点目標

『子ども一人ひとりが輝く学校』

- ・学力保証（学び） 上の学びを求める学級づくり
- ・生活保障（心） 正しいことを求める学級づくり

・体力保障（体） 元気な体を求める学級づくり

※ 参考：光陽小学校 HP【<https://www.koyo-e.sapporo-c.ed.jp/>】

8 整備内容

(1) 校舎棟

ア 普通教室：16 教室

イ 特別支援学習室：4 教室＋プレイルーム

ウ 特別教室：9 教室

理科室、家庭科室、図工室、第1・第2音楽室（左記各準備室）、図書室、特別活動室、生活科室、教育相談室

エ 多目的室：3 教室

多目的室、視聴覚対応、少人数対応

オ 管理諸室

校長室、職員室、印刷室、保健室、用務員室、放送室、会議室、教材室、物品庫、職員更衣室（男女別）

カ その他

PTA 室、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ（男子用、女子用、多目的、職員用）

※ 特別活動室、生活科室、会議室は、普通教室に転用可能な配置とする。

(2) 児童会館

風除室、玄関、事務室、遊戯室（プレイルーム）、集会室、クラブ室、図書コーナー、トイレ（男子用、女子用、多目的）、水飲み場、収納

(3) 多目的ホール

(4) 屋外環境施設

グラウンド用屋外物置、飼育小屋、温室、教材園

9 概算事業費

校舎等建設費 約 30 億円

解体費 約 5 億円

グラウンド造成費 約 2 億円

10 基本設計の進め方と想定スケジュール

学校、PTA 及び地域の代表等と協議しながら基本設計案を作成する。また、保護者や地域住民を対象とした住民説明会を開催し、意見を聴く。

	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
基本設計 スケジュール	配置・平面計画の検討			平面計画の検討			意見聴取 詳細検討	
							●住民説明会	

11 改築等想定スケジュール

